

世界自然・野生生物映像祭 in 名古屋

JAPAN
WILDLIFE
FILM
FESTIVAL



ボランティア
募集中



スペシャルトークショー
講演：羽仁進 監督

2010年10月9日(土)・10日(日)

会場：ミッドランドホール(名古屋駅前)

入場無料

- ◆主催：NPO法人地球映像ネットワーク <http://www.naturechannel.jp>
- ◆特別協賛：ミッドランドスクエア
- ◆協力：ワイルドスクリーン(英国) ジャクソンホール・ワイルドライフ・フィルム・フェスティバル(米国)
UNEP国連環境計画(ナイロビ本部)
- ◆協賛：矢崎総業(株) キヤノン(株) 積水化学工業(株)
- ◆後援：総務省 外務省 文部科学省 環境省 富山県 オーストラリア大使館
(財)日本鳥類保護連盟 (財)日本YMCA同盟 (財)ボーイスカウト日本連盟
(社)ガールスカウト日本連盟 (財)日本野鳥の会 (社)全日本テレビ番組製作社連盟
(財)放送番組センター (社)映像文化製作者連盟 (株)映像新聞社 (社)日本映画テレビ技術協会
- ◆映像翻訳協力：(株)ルミエール (株)カンバス
アイ・エス・エス・インスティテュート横浜校 ワイズ・インフィニティ

この映像祭は、トヨタ自動車株式会社の
「トヨタ環境活動助成プログラム」の助成を受けて実施しています。

お問い合わせ / 03-5261-9907 E-mail nfn2@naturechannel.jp

©Katsumi Tange



感動、自然を守る大きな力。

～あなたはいくつの生命と出会えますか～

「世界自然・野生生物映像祭」は、ワイルドスクリーン(英国)、ジャクソンホール・ワイルドライフ・フィルム・フェスティバル(米国)の姉妹映像祭として、2年に一度富山県で開催されています。毎回、世界の40以上の国と地域から400本を超える最新のワイルドライフ映像が集まり期間中、その中から選ばれたノミネート作品の上映、そして海外からの映像作家やゲストの皆さんが映像とともに「地球の今」を語ってくれます。

昨年、2009年の8月20日から23日までの4日間、第9回の映像祭が開催され、大成功を収めました。

世界トップレベルの素晴らしい自然や野生生物の映像は、国境や文化や言葉をこえて感動を伝える大きな力です。

日ごろ見るができない大自然のドラマ、ひたむきな生命の営み。そして、この地球こそすべての生命がつながっているただ一つの「青い惑星」であると教えてくれるでしょう。感動が感動を呼び、輪が広がれば自然を守り、野生生物と人間の未来を切り開く道となるに違いありません。

見逃せない映像が名古屋にやってくる。あなたはいくつの生命と出会えますか？

上映作品紹介

※DVD上映

10月9日(土) 開場 12:45

13:00～ オープニングセレモニー & 上映



アフリカの夏 ～ルアンガア川の戦い～

南アフリカ / 50分 字幕

製作：アクアビジョン・テレビ・プロダクションズ
制作：ダグ・マッケイホープ
撮影：ピーター・ランベルティ
ウィレム・ヴァン・ヒールデン

ザンビアのルアンガワ川流域。豊かな水をたたえる雨季が終わると、過酷な乾季が訪れます。再び雨が大地を潤し始めるまで、干上がっていく川に残ったわずかな水辺が野生動物の生き抜くカギです。アフリカで3強と言われるライオン・カバ・クロコダイルの生き残りをかけた戦い——。この戦いを勝ち抜くのは？

16:45～

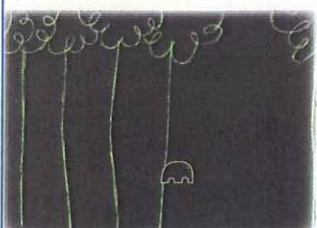


ピーター・ラロビッチの世界 3作品 セルビア 音のみ

アリ地獄～明日は我が身～ 7分
森のものがたり 10分
糞ころがし 9分

製作・制作・撮影：ピーター・ラロビッチ

第8回の映像祭に審査員の一人として来日したピーター・ラロビッチ氏は、1932年生まれ、世界的に有名なベオグラード在住のドキュメンタリー監督です。「動物には人間と共通する性質がある」と彼は言います。生き物の性質をとらえ、それが物語調の映像で表現されています。今回上映される3作品は、全てノンナレーションのショートフィルム作品です。



ゾウと木の物語

シンガポール / 3分 吹替え

製作：ピーチ・ブロッサム・メディア
エレマンツリー・メディア
制作：リンリー、KQ
演出：リック・ボルハ、ジン・ピン・リー

これは、アジアゾウと一本の木の友情をかわいらしく描いたアニメーション作品です。心地いいリズムと線で描かれたシンプルなアニメーションが、今、私たちが忘れかけようとしている自然への共感を目覚めさせ、自然保護を呼びかけます。

17:30～



シャチの海へ

フランス / 52分 字幕

製作：セント・トーマス・プロダクションズ
制作：ジャン・フランソワ・バルト
演出：ジャン・フランソワ・バルト
撮影：ジャン・フランソワ・バルト
ディヴィッド・レイチャート

南極と南アフリカの間、インド洋に浮かぶクローゼー諸島。地球の果てに位置する島では、季節を問わず暴風雨や氷雪が吹き荒れています。海洋動物の撮影家デヴィッド・レーチェルが、最低限の装備でやってきました。キングペンギンのヒナ達と触れ合い、ゾウアザラシの子ども達と戯れ、シャチと水中で会話するという、動物に溶け込んでいく様子を感動的な映像で描きます。

9日(土) 14:30～ スペシャルトークショー

講演：映画監督 羽仁 進

マザーアフリカ「チーターの母子物語」上映

審査委員長として、世界自然・野生生物映像祭を第1回から支えてくださっている羽仁進監督の、30年以上にわたるアフリカの取材を通して見た野生生物の世界。争いを繰り返す私たち人間が動物に今、学ぶことは——。



10:30 ~

運命の川 マラ

ドイツ/50分 字幕

製作: スタジオ・ハンブルグ/北ドイツ放送
制作: トム・シナツェク
演出: ピーター・グラウブ
撮影: ピーター・グラウブ



東アフリカ、ケニアのマサイマラ国立保護区と、タンザニアのセレンゲティ国立公園を流れるマラ川。アフリカの重要な自然保護地域であるこの一帯は、野生動物の故郷です。壮大な動物の群れがマラ川を越える、とりわけヌーの大移動は世界的に有名で、腹を空かせたワニが待ち受けている川渡りの様子は圧巻です。マラ川をめぐる今アフリカが抱える問題が見えてきます。

11:35 ~

種を集める人

オーストラリア/52分 字幕

製作: 360 ディグリー・フィルムス
制作: サリー・イングルトン
演出: サリー・イングルトン
撮影: フィリップ・ブル



この映画は地球と人間の未来にとって、目をそむけることのできない不可欠で重いテーマを扱ったドキュメンタリーです。自ら引き起こしたと言われる地球規模の気候変動によって、近い将来起こりうる深刻な食糧危機に、私たちは今、何をすべきなのかを問いかけています。

13:00 ~

生命は誰のものか?

ジンバブエ/26分 吹替え

製作: ジンメディア
制作: サイモン・ブライト
演出: イングリッド・シンクレア
撮影: N・ペディ
G・ジョンストン=ロバートソン



近年、先進国は「特許獲得」と「遺伝子工学」を目的に、第三世界の貧しい国々の貴重な植物資源を利用してきました。その行為は「バイオパイラシー」と呼ばれ、土着の農民の努力や知識、プライドを奪う、ある種の略奪行為とみなされています。そのバイオパイラシーから農民を守るため、「生命の所有権」をかけて闘う二人の学者の闘争の記録です。

14:40 ~

**自然は今
「アラル海が消える」**

カナダ/48分 吹替え

製作: カナダ放送協会
制作: ジェフ・ボウイ、ペトラ・ヴァリエ
演出: ジェフ・ボウイ
撮影: ネヴィル・オットー



アラル海は死に瀕しています。中央アジアを世界最大の綿花生産地にしようという計画の犠牲になり、灌漑用に作られた無数の用水路によって水が涸れかけています。アラル海の消滅は20世紀における最悪の環境災害です。この作品は人間が引き起こした環境破壊の物語です。

15:45 ~

グリーン

フランス/48分 音のみ

製作: MOEZ
制作: MOEZ
演出: MOEZ
撮影: MOEZ



この作品は、インドネシアで森林伐採の被害にあった、メスのオランウータン「グリーン」の話です。森の美しさと破壊のすさまじさ、そして瀕死のオランウータンの悲しみを、交互に描いた詩的な映像は、私たちに今、何をなすべきかを痛切に訴えかけます。

森の涙

インドネシア/8分 字幕

製作: ゲッコウ・スタジオ
制作: リザディ・シアジャン、ナナン・スジャナ
演出: リザディ・シアジャン、ナナン・スジャナ
撮影: ナナン・スジャナ、エーン・イルワン・ブルト
ラユーディ・ノフィアンディ



森の涙は、インドネシアの森を舞台にしたドキュメンタリーです。伐採や鉱山開発が進み、これまで自然のままに調和を保ってきた、素晴らしい熱帯雨林が、急速に失われようとしています。危機は森だけでなく、そこに暮らす人々の生活にも、せまりつつあります。

17:55 ~

ボルネオの小さなゾウ

オランダ/52分 字幕

製作: オフ・ザ・フェンス
制作: ジョー・ケネディー
演出: マイケル・パトリック・ウォン
撮影: マイケル・パトリック・ウォン



2004年までボルネオゾウは外来のゾウがボルネオ島に住み着いたものと考えられていました。しかしDNA検査の結果、ボルネオ島固有の亜種で、30万年も前から生息していたことが判明しました。ガイドのパートは、ジャングルを探索し、ボルネオゾウの群れを間近で観察、その知られざる生態に迫ります。

※自由席・各回入替え制です。
都合によりプログラムは変更になる場合があります。
座席数に制限がありますので、事前予約にご協力をお願いいたします。

会場：ミッドランドホール (ミッドランドスクエア5F)

【住所】 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

【アクセス】

■名古屋駅(徒歩5分)、地下鉄名古屋駅(徒歩1分)
名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅(徒歩3分)
地下街より雨に濡れずにお越しいただけます。

■駐車場あり(B2F～B3F)

※映像祭専用の駐車場はありません。
環境のためにも電車・バスのご利用をお願いします。



地球映像ネットワークとは

私たちは「次代を担う子どもたちに、美しい地球を託していきたい」の願いのもと、1992年に設立されました。
地球の貴重な財産ともいえる自然や野生生物を映像という形で収集、保存し、映像を通じて多くの人たちに「地球の今」を伝え
地球環境保護への理解と関心を高めることを目的としています。

世界自然・野生生物映像祭

1993年から富山県で隔年開催。以降、アジア・オセアニアを代表する映像祭に発展しました。
その映像祭も来年、2011年で20周年を迎えます！
ヨーロッパ地域を代表する英国のワイルドスクリーン、
アメリカ地域を代表するジャクソンホール・ワイルドライフ・フィルム・フェスティバルと
提携・協力し、ワイルドライフ映像の収集・保存・普及に貢献しています。
世界40カ国約400作品の応募があり、毎回3万人を超す参加者が集い
述べ、2000人のボランティア・スタッフが運営を担っています。

11月20日(土)・21日(日) 世界自然・野生生物映像祭 in ズーラシア (よこはま動物園 ズーラシア)

2011年 8月 4日(木)～7日(日) 第10回 世界自然・野生生物映像祭 in 富山 (富山国際会議場 他)

あなたもボランティアに参加しませんか

ボランティアスタッフ・インターン生を随時募集しています。
映像祭の運営スタッフとして
ビデオ・カメラ等撮影補助スタッフとして
映像翻訳者として、神楽坂事務所オフィススタッフとして
あなたもボランティアに参加しませんか？



神楽坂事務所

定期上映会(神楽坂ミニシアター)

毎月第一・第三月曜日の午後6時30分より、神楽坂事務局に併設している
ミニシアターにて上映会を行っています。作品は毎回異なっています。
料金は無料ですので、ぜひご参加下さい。
※上映は都合により中止・変更となる場合がありますので、HP等でご確認下さい。